

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和7年10月

1 喜界島さとうきび大規模モデル農家間で相互検討会を開催！

10月10日、喜界町役場において、さとうきび大規模モデル経営体5戸を参集し、意見交換会を開催しました。昨年度から実施している、大規模モデル経営体を対象にした栽培管理や機械装備等の調査・分析結果について、モデル経営体5戸の共通点・相違点を説明するとともに、各農家から「省力化」のための工夫を聞くことができました。農政普及課では、これまでの調査で得られた結果を活用し、関係機関と連携して、産地振興のための新たな大規模経営体の育成を支援していきます。

2 喜界町川嶺集落の大規模農家間の農地棲み分け・交換について検討

10月10日、喜界町役場で、喜界町川嶺集落のさとうきび大規模農家2戸の農地の集積・棲み分け・交換について話し合いを行いました。7月の「川嶺集落の農地について語る会」で、集落内の農地を当該の2戸へ集約することが決まったことから、検討会を実施しました。農地を棲み分ける事には2戸とも同意し、農地の交換は、廃耕予定の地図を作成し、農家同士で話し合うことになりました。農政普及課は、川嶺集落の地域計画の話し合いが進んでいくよう、関係機関と連携して支援していきます。



川嶺集落の大規模農家農地集積
検討会の様子

3 喜界町でさとうきびハーベスタ新規オペレーター試乗会を開催

10月18日、喜界町ハーベスタ連絡協議会は、さとうきびハーベスタのオペレーター確保に向け、昨年に引き続き、喜界町赤連で新規オペレーター試乗会を開催しました。試乗会には国産ハーベスタ3機種を準備し、協議会員が若手農家や他産業勤務の青年に指導しました。収穫した苗を用い、自動操舵のビレッドプランターによる定植も実演し、さとうきび農家の見学者も多く集まる盛大な会となりました。農政普及課は、今後も協議会や関係機関と連携してオペレーター確保の取組を支援していきます。



オペレーター試乗会の様子